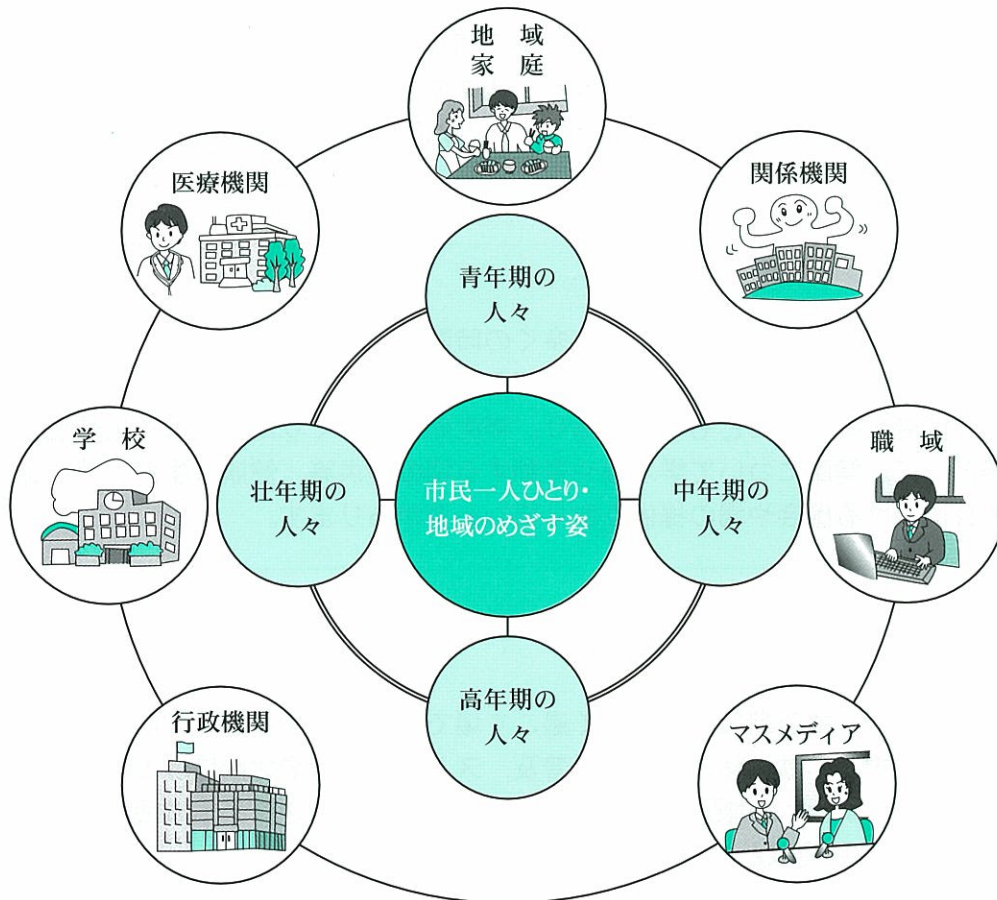


市民、関係機関・団体等の役割と連携

「健康総社21～いきいき吉備路プラン～」を市民運動として推進していくためには、行政はもとより、家庭、学校、職域、関係機関・団体など社会を構成するあらゆるメンバーがそれぞれの機能に応じた役割を果たすとともに、相互に連携していくことが必要です。



家庭の役割

家庭は、地域社会を構成する基礎的単位であり、食生活などを通じて正しい知識を伝え、乳幼児期から生涯を通じて望ましい生活習慣を身につける等、健康づくりの面から大きな役割があります。また、日頃の会話などによるコミュニケーションも重要であり、精神的な安定、さらに休息や癒しの場としての機能も重要となっています。男女共同参画の視点に立った健康づくりの推進と心の健康の観点からも、家族メンバーの関係や役割の再確認も必要です。

また、生活習慣病や健康診査について理解を深め、積極的な健康づくり（1次予防）に努めるとともに、早期発見・早期治療（2次予防）に家族全員で取り組むことが必要です。